

# 北米北西海岸の低湿地遺跡からみた 植物利用・景観復元・海水準変動

低湿地遺跡は、通常の遺跡では残りにくい有機質遺物が良好に残存する貴重な遺跡です。カナダ・アメリカ北西海岸における低湿地遺跡の発掘調査に携わった海外の研究者2名をお招きして、植物利用や景観復元、海水準変動といった近年の研究動向について、お話いただきます。

## Early Holocene Wet Sites on the Pacific Coast of Canada.

完新世前期におけるカナダ太平洋岸低湿地遺跡について

ダンカン・マクラレン博士 (カナダ・ビクトリア大学)

## Mid to Late Holocene Wet Sites in the Salish Sea and Sunken Village, Portland, Oregon, USA.

完新世中後期における低湿地遺跡について—アメリカ・オレゴン州ポートランド、サリッシュ・シー遺跡、サンケン・ビレッジ遺跡の事例から—

デール・クロース博士 (アメリカ・ワシントン州立大学)

◆ 日時: 2015年8月4日(火) 午後2時~4時30分

入場無料

◆ 場所: 奈良文化財研究所・平城宮跡資料館内小講堂

※近鉄・大和西大寺駅より徒歩約10分。

※小講堂の場所は、平城宮跡資料館の受付にてご確認ください。

◆ 講演会后、ディスカッションの時間を設けます。

主催: 奈良文化財研究所

共催: 大学共同利用機関法人・人間文化研究機構  
総合地球環境学研究所



◆ お問い合わせ

奈良文化財研究所 環境考古学研究室

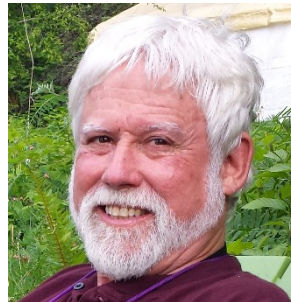
0742-30-6851(山崎 健・真貝理香)  
shinkai@nabunken.go.jp(真貝)



<講演者>

Duncan McLaren Ph.D.

カナダ、ビクトリア大学助教。ハカイ研究所研究員。ブリティッシュ・コロンビア沿岸諸島の貝塚や低湿地遺跡の発掘、景観復元プロジェクトのリーダー。後氷期の海水準変動、古環境復元等が研究テーマ。昨年末、ブリティッシュ・コロンビア州カルバート島で、北米最古の複数の足跡を発見した(13,200-13,100BP)。



<講演者>

Dale Croes Ph.D.

アメリカ、ワシントン州立大学客員研究員。元・サウスプロジェクト・サウンド・コミュニティカレッジ教授。長年、ワシントン州・オレゴン州の低湿地遺跡調査を手がける。過去の植物利用研究を行なうとともに、ネイティブへの民族誌調査、編みかごの復元などを行なう。日本人チームとの共同調査も多い。WARP (Wetland Archaeology Research Project) 国際湿地考古学研究会理事。



<通訳>

羽生淳子(写真)

総合地球環境学研究所(地球研)教授。カリフォルニア大学バークレー校教授。地球研「地域に根ざした小規模経済活動と長期持続可能性」プロジェクトリーダー。

小林優子

地球研「地域に根ざした小規模経済活動と長期持続可能性」プロジェクト研究推進支援員。カナダ・ブリティッシュ・コロンビア大学修士課程修了。